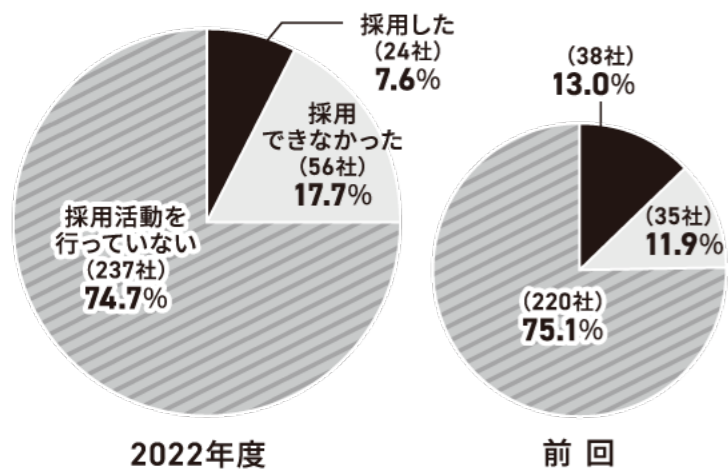


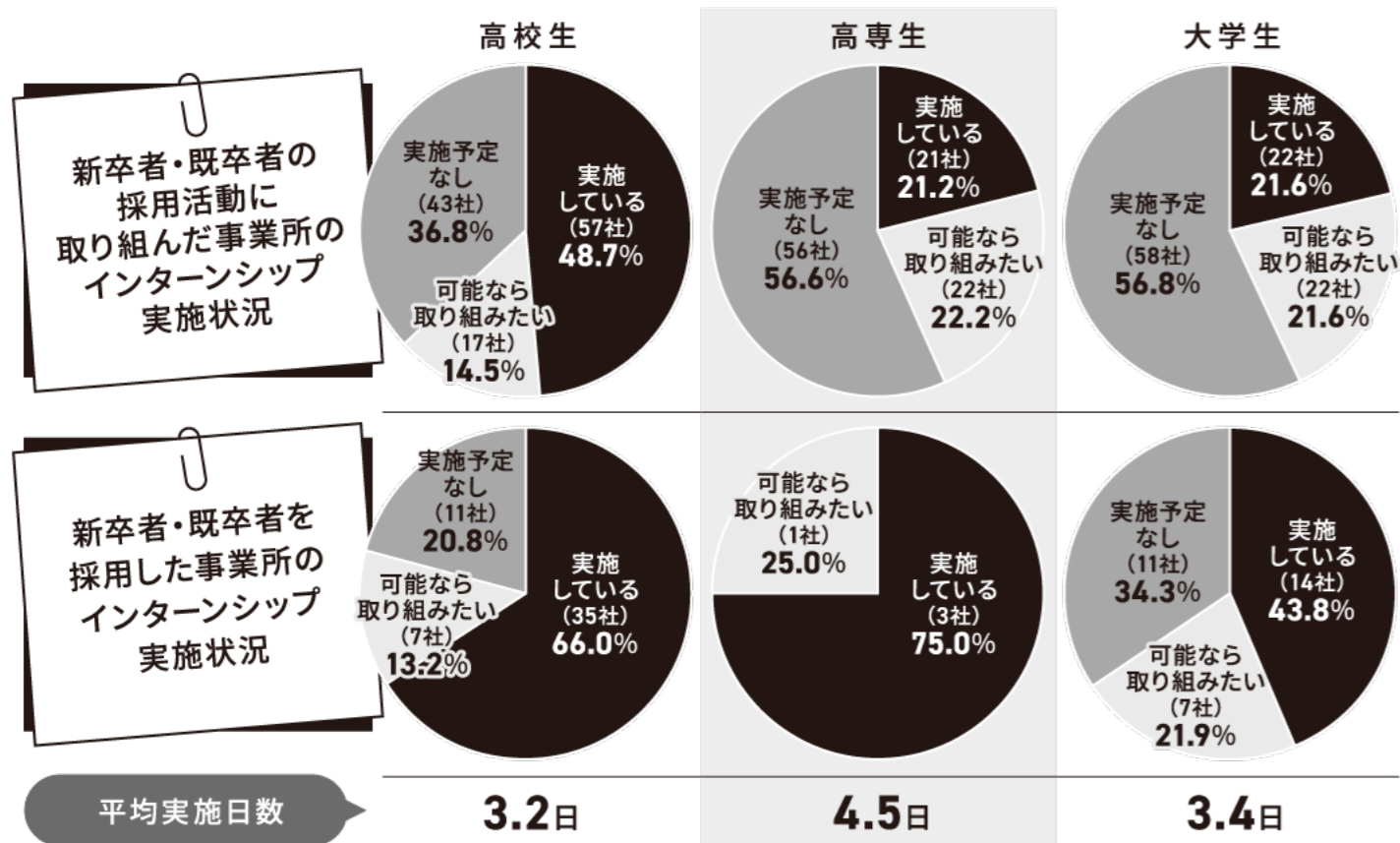
2022年度中のUIターン者採用について



昨年度UIターン者の採用活動に取り組んだ事業所は、317社中80社・25.3%で、前回から7社・0.4ポイント増加。採用に至った事業所は14社減少の24社で、採用人数の合計は5人減少の47人。宮城県や関東圏以外に大阪・福岡・広島などからのUIターン者もいる。UIターン者を募集する主な理由は、「人手不足」、「即戦力が欲しい」、「県外に進学している学生に戻ってきてもらうため」、「他地域・他企業での経験を自社で活かして欲しい」。

募集方法は昨年に引き続き、「ハローワーク」、「自社HP」、「就職フェアや合同説明会」、「UIターン関連HP」の利用が多く、その他「有料求人サイト」、「YouTube広告」という回答があった。

インターンシップについて



今春の新卒者・既卒者の採用活動に取り組んだ事業所170社におけるインターンシップ実施状況(上段円グラフ)は、高校生向けが57社・48.7%(回答117社)、高専生向けが21社・21.2%(回答99社)、大学生向けが22社・21.6%(回答102社)。今回調査では、高校生・高専生・大学生、すべてにおいてインターンシップを実施している事業所が昨年に比べ減少している。しかし、高校生のインターンシップについては、「実施している」または「取り組みたい」と思っている事業所が半数以上であることから、高専生や大学生に比べ、注目度は高い。

実施日数の平均は、高校生で3.2日、高専生で4.5日、大学生で3.4日。基本的に高校生は3日、高専生は3~5日、大学生は1日または5~7日の実施日数が多かった。

インターンシップ実施状況の採用結果への影響(下段円グラフ)は、高校卒生を採用した事業所の66.0%がインターンシップを実施、同じく高専卒生75.0%、大学卒生43.8%と、比較的高い割合でインターンシップが実施されている。今回調査ではインターンシップを実施している企業が減ったが、学生の新卒採用には積極的なインターンシップへの取り組みが重要だと考えられる。

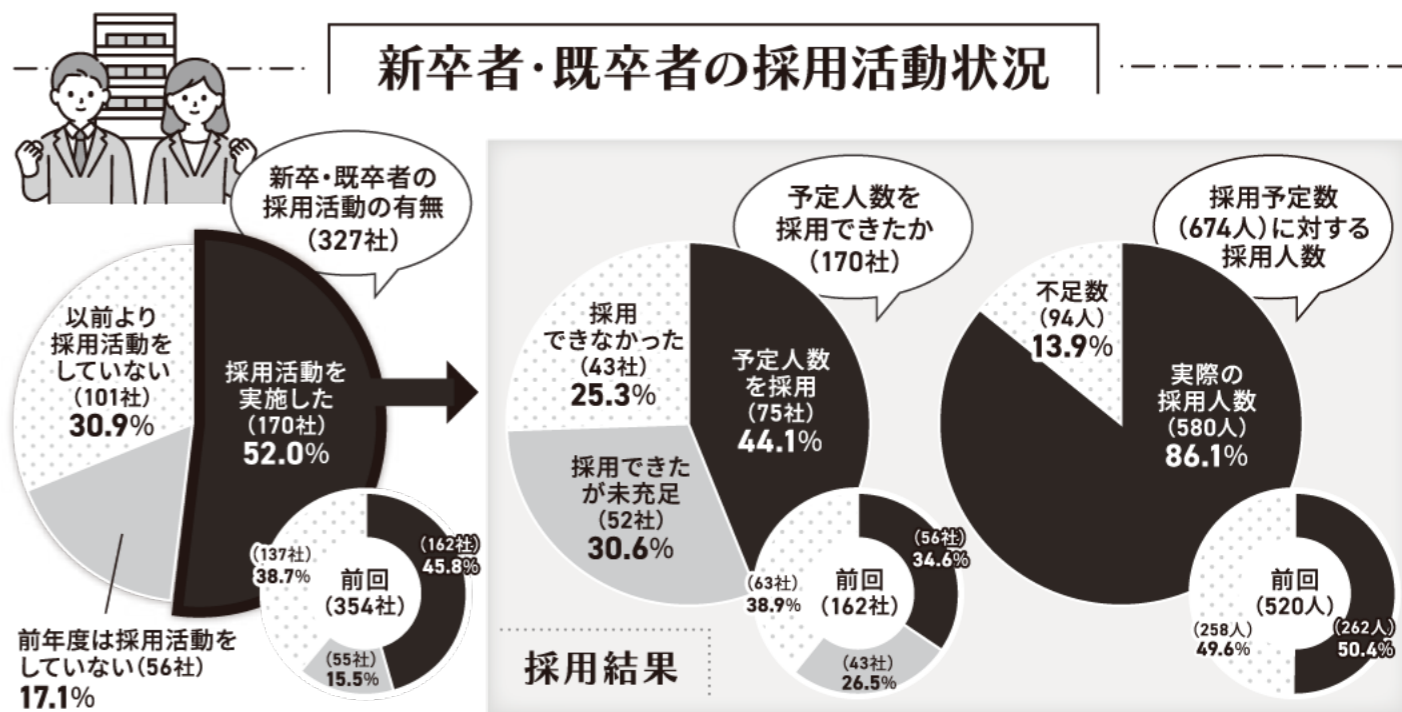
令和5年度 採用実態調査結果

鶴岡商工会議所と鶴岡地区雇用対策協議会では、地域の採用状況を把握し、今後の対応策を検討するため、平成27年度より毎年同時期に本調査を実施しております(今回の回答数:327社)。鶴岡管内の令和5年3月の新規高卒者の求人倍率は3.24倍と、前年から0.31ポイント上昇。来春(令和6年3月)の高卒者就職希望者数は、8月末時点で前年同期比2.3ポイント増加(307人→314人)、県内就職希望者数は5.0ポイント減少(239人→227人)となり、採用環境は厳しい状況が続いております。



調査結果の
詳細はこちら

新卒者・既卒者の採用活動状況



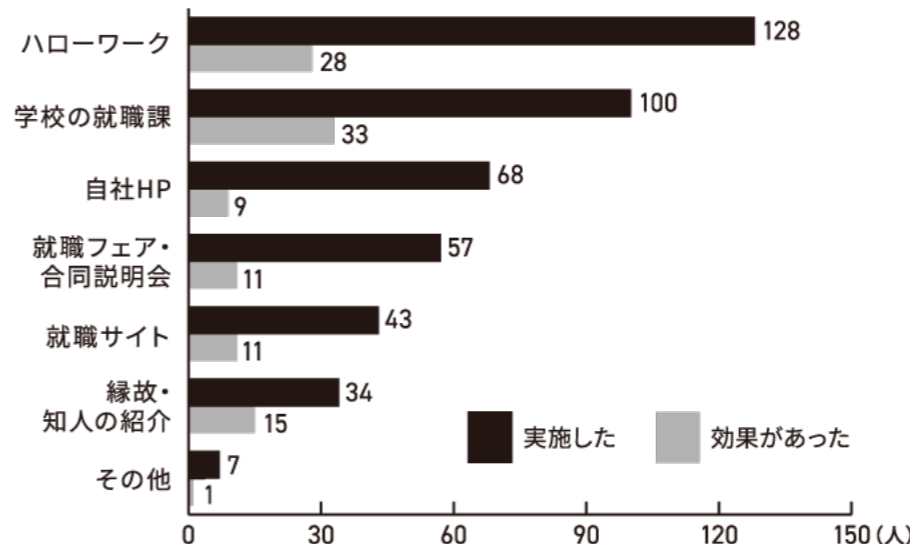
今春の新卒・既卒者の採用活動を実施した事業所数は、アンケートに回答した327社中170社・52.0%で、割合は前回調査(354社中162社)から6.2ポイント増加した。

採用活動を実施した170社の採用結果は、予定人数を採用できた事業所が75社・44.1%。計画通りの採用ができなかった(未充足+採用できなかった)事業所が95社・55.9%となり、

前回調査から9.5ポイント回復している。

採用人数については、全体の採用予定数674人に対し、実際の採用数は580人・86.1%、不足数は94人・13.9%と、不足割合は前回調査よりも35.7ポイント減少している。不足数も、昨年調査の162社・258名の不足に比べ、170社で合計94名の不足と、大幅に減少している。

新卒者・既卒者へ向けて実施した募集方法



採用の為に実施した募集方法(グラフ上段)は、「ハローワーク」、「学校の就職課」、「自社HP」、「就職フェアや合同説明会」、「就職サイト」の順に利用が多く、「縁故・知人の紹介」が昨年に比べ増加した。

特に効果があった募集方法(下段)としては、「学校の就職課」、「ハローワーク」、「縁故・知人の紹介」への回答があった。





みんなと
会社の未来を
健康に。

Know You Can

そう。あなたなら、できる。

AXA-A2-2209-1161/9WD 「健康経営®」は、特定非営利活動法人健康経営研究会の登録商標です。



やりがいが集まって、会社はつよくなる。

「離職率が下がり始めている」「生産性がアップしてきた」。いま、経営者の皆様のそんな声が増えています。それはきっと、アクサの健康経営による「やりがい効果」。心と身体の健康をケアすることはもちろん、ある会社では「仕事と治療の両立」や「社内サークル活動」などに取り組み、夢や生きがい、働きがいといった「社会的健康」までをサポートしています。

社員一人ひとりがやりがいをもって働ける環境をつくり、会社全体も元気に変えていくために、アクサ生命がお手伝いします。

83%が実感!
アクサ式やりがい効果
※アクサ式導入企業756社のデータより

健康経営アクサ式

アクサ生命は、商工会議所と協力し、会員事業所の各種ニーズ(弔慰金・見舞金制度、退職金制度、リスク対策や事業承継など)を共済制度/福祉制度でサポートしています。

アクサ生命保険株式会社 山形支社 鶴岡営業所
〒997-0035 山形県鶴岡市馬場町8-13 TEL 0235-24-0896

【青年部】

つるおか麺フェス2023 in 荘銀タクト

8/26 SAT

8/27 SUN

■主催/鶴岡商工会議所青年部
■後援/鶴岡市、鶴岡食文化創造都市推進協議会



尾川会長による
開催宣言

青年部のメイン事業である「つるおか麺フェス2023」(以下、麺フェス)が荘銀タクト鶴岡(以下、タクト)を会場に開催されました。当事業は、前年度に青年部の通年事業の位置付けとしてゼロベースで企画を行った事業です。目的は大きく分けて2つあり、1つ目は市の中心部で賑わいを創出することで地域の活性化を図ることです。2つ目は、参加者がユネスコ食文化創造都市であることに対する関心と理解を深めることを挙げております。

今年の麺フェスは、26日に前夜祭、27日に本祭の2日間に渡り開催しました。前夜祭では、キッチンカーの出店とユネスコ食文化創造都市のPRを行い、翌日の麺フェスに向けて弾みを付けることができました。本祭では、会場内を麺エリア、フードエリア、キッチンカーエリア、クラフトエリアの4つのエリアにわけ、全51店舗が出店しました。

多くの人で賑わったクラフトエリア、人気の庄農うどんの販売も!



また、タクト内の大ホールでは、「ユネスコ食文化創造都市ミーティング」と題して大分県白杵市と鶴岡市の高校生による交流事業を行いました。白杵市は、鶴岡市に次いで2番目にユネスコ食文化創造都市に認定された地域です。当企画は両市の協力を頂き昨年に行った2回目となります。今回は、白杵高校と庄内農業高校、加茂水産高校の生徒が取り組んでいる食文化に関する活動や事例について発表して頂きました。事例発表の後には、特別講演として日本料理わたなべ店主渡部賢氏による記念講演が行われました。



ユネスコ食文化創造都市ミーティング大成功!



白杵高等学校による発表

9月30日に家康公検定が全国6ヶ所で実施されましたが、そのうちの1ヶ所が当地で実施されました。女性会ではこの会場付近の荘内神社様前にて家康公検定を終えられた方も対象に、おもてなし事業として観光客への観光・土産の案内、お茶のサービスを実施しました。

また、合わせて社会活動事業として受験者の方が通るであろう参道や大寶館までのゴミ拾いも実施しました。



【女性会】
おもてなし・社会活動事業

■場所/荘内神社前

9/30 SAT

